

2015年6月2日

issue+design、新刊発行のお知らせ

人口減少×デザイン

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、

社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決する

issue+designは、新刊書籍となる

『人口減少×デザイン——地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。』

を、2015年6月2日（火）より発売開始いたします。

■ お金がない？ 出会いがない？ 地方と都市はどう変わる？

人口減少の「事実」と「対策」。

結婚・仕事・住まい・経済など様々な面で私たちに大きく関わる、
21世紀の日本を襲う最大の問題「人口減少」。

知ってそうで知らないその本質をデザインの力で解き明かし、
地域でできるアクションを事例を交えながら提案いたします。

行政・政策関係者や地域活性化に取り組む人はもちろん、
日本社会の大問題をきちんと理解しておきたいすべての人に
読んでほしい一冊です。（定価：本体1,800円+税、発行：英治出版）

地域と日本の大問題を、
データとデザイン思考で考える。

お金がない？
どう変わる？
人口減少の
「事実」と「対策」。
出会いがない？
地方と都市は

英治出版

■ 『人口減少×デザイン——地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。』

<http://www.eijipress.co.jp/book/book.php?epcode=2211>

（定価：本体1,800円+税、発行：英治出版）

第1章 人口減少への16の疑問とキーデータ

第2章 人口減少のメカニズム

第3章 人口減少要因で見る地方自治体5タイプ

第4章 提言：人口減少問題へのアプローチ

第5章 人口減少問題解決の7ステップ

▼ 人口減少問題の「本質」を理解する（1～3章）

人口減少は、私たちのライフスタイルから都市計画や経済まで、様々なことに関連する複雑な問題です。
本書はデータとデザインの力でその本質を明らかにします。

▼ 地域でできる「アクション」を知る（4～5章）

人口減少に対し、身近な地域レベルで何ができるでしょうか。デザイン思考を使ってそれぞれの地域の
状況に合った問題解決の指針を示します。

■著者について

窪 裕介

1975年生まれ。一橋大学社会学部卒業。東京大学大学院工学系研究科修了（工学博士）。2008年ソーシャルデザインプロジェクトissue+design 設立。代表プロジェクトに震災支援の「できますゼッケン」、現代育児の課題解決のための「親子健康手帳」、人との出会いを楽しむ「Community Travel Guide」等。著書に『ソーシャルデザイン実践ガイド』など、その他国内外の数多くのデザイン賞受賞歴を持つ。

